

担当者交流会開催報告

日時：2019年12月20日（金）18：00～20：00

場所：ホテルメトロポリタンエドモント 光彩

参加：54名（会員企業20社34名、ご招待者16名、事務局4名）

一年を締め括る2019年最後の行事として、毎年恒例の「担当者交流会」を開催いたしました。例年に倣い一年間を通じて、当協議会の各委員会の活動でお世話になった方々にご案内し、16名のゲストにご参加いただきました。はじめに橋本副会長・運営委員長にあいさつと乾杯のご発声をいただき交流会が始まりました。

その後、司会の吉岡交流委員長よりゲストのご紹介をさせていただき、引き続き事務局より2019年の日中建協の活動報告として、一年間の入会企業の報告、開催されたイベントや会議、各委員会の取り組みなどのスライドを映写し、皆さまと共に2019年を振り返りました。

1. 2019年には、下記の1社に新たにご入会をいただき、2019年末の会員数は75社（正会員66社、賛助会員9社）になりました。
株式会社キャンディル（正会員）
2. 交流委員会が開催した主なイベント
 - 1) フォーラム：「中国をどう理解し、どう向き合うか」藪内正樹氏（敬愛大学 教授）
 - 2) 中国文化セミナー：「家庭でできる薬膳健康法」辰巳洋氏（本草薬膳学院 学院長）
 - 3) 研修会：大建工業（株）「岡山工場」「R&D センター」見学、倉敷市真備地区西日本豪雨被災地視察
 - 4) 講演会：「世界史の転換期における中国と日本～中国をどう理解し、どう向き合うか」藪内正樹氏（敬愛大学 教授）
3. 広報委員会の新たな取り組み
 - 1) 新規連載
 - ① 「どこに向かうか中国型市場経済」藤村幸義氏（拓殖大学 名誉教授）
 - ② 「中国人留学生から見た日本」東京大学大学院留学生によるリレー連載
 - 2) 中国からのレポート
 - ① 「河北雄安新区の動向」平山翔吾氏（在中国日本国大使館 一等書記官）
 - 3) 座談会
 - ① 「日本で働く若手（80 後）中国人」積水ハウス（株）王上氏、TOTO（株）周蓓氏、（一財）日本建築センター 武春燁氏、YKKAP（株）楊旭氏
 - ② 「女性帰任者座談会：中国駐在を終えて」住友林業（株）三井清香氏、積水ハウス（株）井阪由紀氏
 - 4) 特集記事：「パンダ発見から150年」
4. 情報提供委員会のメールマガジン配信実績
 - 1) 2019年1月15日（火）Vol.174から12月24日（火）Vol.193まで、20回配信予定。
 - 2) 原則、隔週の火曜日に配信し、今年で10年目に入りました。
5. 調査統計委員会による調査報告書HP公開状況
中国の娯楽施設／中国の航空会社と空港／中国建築の内装事情／2019 中国不動産企業トップ500 ランキング／2019 年世界 500 強企業の中国企業／中国の戸籍制度
6. 来日受け入れ・国際会議参加
 - 1) 来日受け入れ（：企業名は、交流または視察アテンド企業）

- ① 正品達（北京）建築科技有限公司：(株) LIXIL／TOTO（株）
- ② 中華人民共和国駐日本国大使館：大和ハウス工業（株）／積水ハウス（株）
- ③ 中国建設科技集团股份有限公司：TOTO（株）／YKKAP（株）
- ④ 中国建設科技集团股份有限公司：大阪ガス（株）
- ⑤ 上海中森建築工程設計顧問有限公司：TOTO（株）／大建工業（株）／YKKAP（株）
- ⑥ 国家発展改革委員会：大和ハウス工業（株）
- ⑦ 住宅都市農村建設部・中国建設科技集团股份有限公司：積水ハウス（株）

2) 訪中

- ① 建築生産工業化日中協力覚書調印（北京）
- ② 日中組立式建築セミナー（北京）：日中建協会員企業：13 社 43 名、事務局

3) 国際会議参加

- ① 第 10 回日中建築・住宅技術交流会議（中国・成都市）参加
 主催：（一財）日本建築センター／（一財）ベターリビング／
 中国建設科技集团股份有限公司
 日中建協会員企業：5 社、8 名及び事務局、合計 9 名
- ② 第 22 回日中建築・住宅技術交流会議（日本・東京）参加
 主催：国土交通省 住宅局／中国住宅都市農村建設部 計画財務外事司
 日中建協会員企業：15 社 28 名及び事務局、合計 29 名

10 回目の開催となる今年の担当者交流会は、今回も多くの方にご参加いただき、盛大な交流会となりました。通常は他の委員会の方との交流の機会がなかなか持てない中、担当者交流会が委員会の枠を超えた交流の場となったのではないかと思います。また、ゲストの方と会員企業の方が歓談されている場面も多くみられ、幅広く交流を深めていただけた有意義な懇親会となりました。

中締めは広報統計委員会の平郡委員長に一本締めのご発声をいただき、2019 年最後のイベントはお開きとなりました。



交流委員会は、日中建協の会員の皆さまに、このような場で普段なかなかお会いする機会のない方々と交流を深めていただき、情報交換の場としていただくことで、皆さまの今後の中国事業のお役に立てればと願っております。

詳細については、会報誌『日中建協 NEWS』No.243 号（2020 年 1・2 月号）に記載しています。